

～ 病院勤務女性看護師 500 人調査(その2)～

女性看護師が求める人事制度やサービスに関する意識調査

- 約7割の看護師が、有給休暇の取得促進や買い上げの制度化を希望している。
- 子どもが就学前の看護師の約6割が、短時間正職員制度の利用を希望している。
- 20～30代の看護師の約5割が、託児所利用へのニーズを感じている。
- 他病院との人事交流や研修制度の充実など、キャリア形成への意欲も高い。

2009年7月3日
株式会社ケアレビュー

病院職員満足度調査会社の株式会社ケアレビュー(本社:東京都品川区、社長:加藤良平)は、全国20～40代の病院勤務の女性看護師に、「利用したい人事制度やサービスに関する意識調査」を実施いたしました。

この調査は、病院職員の中でもとくに職場への満足度が低い若手～中堅の女性看護師にターゲットを絞り、職場環境の改善によって定着率や生産性の向上を図るため、全国の医療関係者やサービス提供企業に対して広く情報提供を行うことを目的としています。

調査方法はインターネットリサーチ。調査期間は2009年3月12日(木)～3月16日(月)。有効回答数は500名から得られました。

【調査結果の概要】

1. 約7割の看護師が、有給休暇の取得促進や買い上げの制度化を希望している。

全国20～40代の病院勤務の女性看護師に、今現在または将来的に利用したい人事制度やサービスを尋ねたところ、「取得しなかった有給休暇を買い上げる制度」と回答した人が69%と最も多く、「リフレッシュ休暇・誕生日休暇・記念日休暇など有給休暇をとりやすくする制度」が61%と続き、有給休暇に関する大きな課題が浮かび上がりました。

未消化分の有給休暇を買い上げることは法的に困難ですが、それだけ看護師が消化し切れなかった休暇日数が多いことを示唆しています。思うように休暇を取得できないと、疲労が蓄積して医療安全面への影響も懸念されるため、最優先で改善すべき課題だと考えられます。

2. 子どもが就学前の看護師の約6割が、短時間正職員制度の利用を希望している。

有給休暇関連に続いて、希望休日の曜日指定制度(41%)、短時間正職員制度(40%)、育児介護休職(39%)、夜勤免除制度(38%)への支持が多く、個人の希望に合わせてフレキシブルに勤務日や時間を選択できる人事制度への希望が多い結果となりました。

このうち、日本看護協会などが導入を推進している「短時間正職員制度」は、子どもが就学前の看護師に限ると59%が利用を希望しており、子育てや家庭生活との両立を考える看護師にとって魅力的な制度であることが裏付けられたと考えられます。

3. 20～30代の看護師の約5割が、託児所利用へのニーズを感じている。

託児所の利用希望者も多く、院内託児所(24時間)が31%、外部託児所の利用料補助が28%、院内託児所(24時間以外)が18%の希望があり、3種類いずれかの希望者は41%に達しました。

とくに、20代の51%、30代の46%が、今現在または将来的に託児所の利用を希望しており、若手の女性看護師を確保する上で不可欠なサービスだと考えられます。

4. 他病院との人事交流や研修制度の充実など、キャリア形成への意欲も高い。

これからも病院の看護師として仕事を続けて行く上で「あったらいいなと思う制度」について、自由記述を求めたところ、さまざまな声が集まりました。

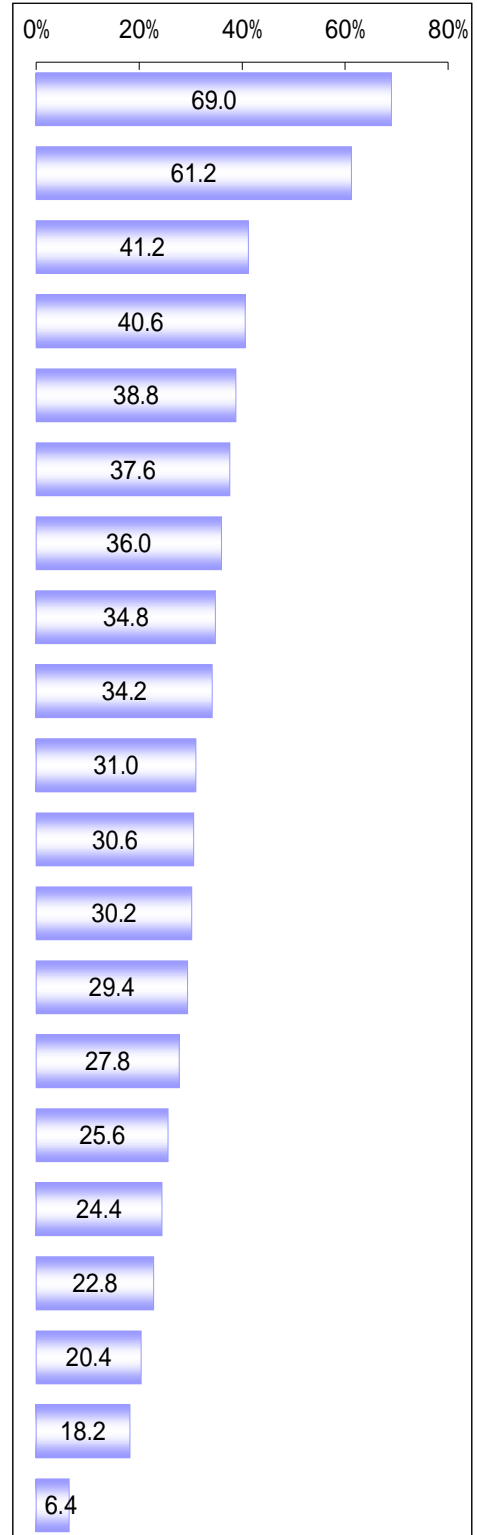
勤務時間や子育て支援への要望だけでなく、他病院との人事交流や研修制度の充実を求める声も比較的多く、さまざまな経験を積んでキャリア形成したいとの意欲が高い看護師も多いと考えられます。これらの多様化するニーズに対しては、1病院だけでは解決できないため、複数の病院間で協力し合うような連携体制づくりが今後より一層求められると考えられます。

【調査結果詳細】

1. 全体集計

問. 次のような制度のうち、あなたが今現在または将来的に利用したいものはありますか。(複数回答可)

	n	%
全体	500	100.0
有給休暇の買い上げ(取得しなかった有給休暇を病院が買い上げる制度)	345	69.0
有給休暇の取得促進(リフレッシュ休暇、誕生日休暇、記念日休暇など、有給休暇をとりやすくする制度)	306	61.2
希望休日の曜日指定(正職員のまま毎週の希望休日を曜日指定できる制度)	206	41.2
短時間正職員制度(正職員のまま週32時間以下の短時間勤務を選択できる制度)	203	40.6
育児介護休職(育児や介護が必要となった一定期間を休職できる制度)	194	38.8
夜勤免除(正職員のまま夜勤が免除される制度)	188	37.6
契約保養所等の利用(契約保養所・リゾートホテルを割引金額で利用できる)	180	36.0
カフェテリアプラン(自分が利用したい福利厚生サービスを、カタログやインターネットで選べる)	174	34.8
専門資格の取得支援(認定看護師や助産師などの専門資格取得を支援してもらえる)	171	34.2
院内託児所(24時間)	155	31.0
他病院との人材交流(今の病院に在籍したまま、他の病院で一定期間仕事をして経験を積むことができる)	153	30.6
外部研修への参加(外部機関や他の病院の研修会に参加できる)	151	30.2
海外研修(海外に行って看護や語学の研修を受けることができる)	147	29.4
外部託児所の利用料補助(外部託児所の利用料補助)	139	27.8
専門家によるコーチング(専門家によるコーチングを受けられる)	128	25.6
夜勤専従勤務(正職員のまま夜勤だけの勤務を選択できる制度)	122	24.4
専門家によるカウンセリング(臨床心理士やカウンセラーによるカウンセリングや電話相談を受けられる)	114	22.8
職員慰安旅行	102	20.4
院内託児所(24時間以外)	91	18.2
あてはまるものはない	32	6.4



2. 回答者属性別の傾向

問. 次のような制度のうち、あなたが今現在または将来的に利用したいものはありますか。(複数回答可)

年代別の割合 (%)

20代 (n=170)	30代 (n=170)	40代 (n=160)
有給休暇の買い上げ 67.1	有給休暇の買い上げ 72.4	有給休暇の買い上げ 67.5
有給休暇の取得促進 62.9	有給休暇の取得促進 60.6	有給休暇の取得促進 60.0
託児所(3種類合計) 50.6	短時間正職員制度 45.9	短時間正職員制度 40.6
希望休日の曜日指定 41.2	託児所(3種類合計) 45.9	育児介護休職 40.0
夜勤免除 40.0	希望休日の曜日指定 45.3	契約保養所等の利用 39.4
院内託児所(24時間) 38.8	夜勤免除 40.0	カフェテリアプラン 38.1
育児介護休職 37.6	育児介護休職 38.8	希望休日の曜日指定 36.9
短時間正職員制度 35.3	カフェテリアプラン 36.5	専門資格の取得支援 35.6
契約保養所等の利用 32.9	契約保養所等の利用 35.9	夜勤免除 32.5
専門資格の取得支援 32.4	専門資格の取得支援 34.7	外部研修への参加 30.0
他病院との人材交流 30.6	院内託児所(24時間) 34.1	他病院との人材交流 28.8
カフェテリアプラン 30.0	外部託児所の利用料補助 33.5	海外研修 28.8
外部託児所の利用料補助 29.4	他病院との人材交流 32.4	専門家によるコーチング 26.9
外部研修への参加 28.8	外部研修への参加 31.8	専門家によるカウンセリング 26.9
海外研修 27.6	海外研修 31.8	託児所(3種類合計) 26.9
夜勤専従勤務 26.5	専門家によるコーチング 27.1	職員慰安旅行 21.9
専門家によるコーチング 22.9	夜勤専従勤務 25.3	夜勤専従勤務 21.3
院内託児所(24時間以外) 22.9	専門家によるカウンセリング 25.3	外部託児所の利用料補助 20.0
専門家によるカウンセリング 16.5	職員慰安旅行 24.1	院内託児所(24時間) 19.4
職員慰安旅行 15.3	院内託児所(24時間以外) 18.2	院内託児所(24時間以外) 13.1

子どもの有無・就学状況別の割合 (%)

子どもなし (n=317)	就学前 (n=85)	就学後 (n=98)
有給休暇の買い上げ 68.1	有給休暇の買い上げ 71.8	有給休暇の買い上げ 69.4
有給休暇の取得促進 61.5	有給休暇の取得促進 69.4	有給休暇の取得促進 53.1
希望休日の曜日指定 39.7	託児所(3種類合計) 68.2	短時間正職員制度 42.9
託児所(3種類合計) 39.4	短時間正職員制度 58.8	育児介護休職 42.9
育児介護休職 36.0	夜勤免除 55.3	専門資格の取得支援 40.8
夜勤免除 35.3	外部託児所の利用料補助 51.8	希望休日の曜日指定 38.8
短時間正職員制度 35.0	希望休日の曜日指定 49.4	契約保養所等の利用 38.8
カフェテリアプラン 35.0	院内託児所(24時間) 47.1	外部研修への参加 32.7
契約保養所等の利用 34.7	育児介護休職 44.7	カフェテリアプラン 31.6
専門資格の取得支援 31.2	契約保養所等の利用 37.6	夜勤免除 29.6
院内託児所(24時間) 31.2	カフェテリアプラン 37.6	専門家によるコーチング 28.6
他病院との人材交流 30.6	専門資格の取得支援 37.6	他病院との人材交流 27.6
海外研修 30.0	他病院との人材交流 34.1	海外研修 25.5
外部研修への参加 28.7	外部研修への参加 32.9	託児所(3種類合計) 24.5
夜勤専従勤務 26.8	海外研修 31.8	専門家によるカウンセリング 23.5
専門家によるコーチング 24.6	院内託児所(24時間以外) 30.6	外部託児所の利用料補助 20.4
外部託児所の利用料補助 23.7	専門家によるコーチング 25.9	職員慰安旅行 20.4
専門家によるカウンセリング 23.0	夜勤専従勤務 21.2	夜勤専従勤務 19.4
職員慰安旅行 20.5	専門家によるカウンセリング 21.2	院内託児所(24時間) 16.3
院内託児所(24時間以外) 17.0	職員慰安旅行 20.0	院内託児所(24時間以外) 11.2

3. 印象的な自由記述回答 (抜粋)

問.あなたがこれからも病院の看護師として仕事を続けて行く上で「あったらいいな」と思う制度があれば、ご自由にお書きください。

有給休暇に関するコメント

- ・ もっと有給を取れるか、せめて有給を自分の希望で取れるようにしてほしい。
- ・ 年休や有給を消化できるシステムを確立して欲しいと思う。現在は、ほとんど消化できないのが慣習となっているため、看護部や病院全体がもっと積極的に消化できるようなシステムを作って欲しいと思う。
- ・ つかえなかった有給をお金にしてほしい。もしくは、有給を期間内に消化しなければならない制度を。
- ・ 体調不良で休む際に通常の休みを削られるのではなく、休養のための休暇制度があればいいと思う。またそのようなときに人員を補充できるような日雇い看護師のネットワークみたいなものがあればいいと思う。

勤務時間や夜勤形態に関するコメント

- ・ 出勤日・出勤時間が選べる。夜勤形態を聞いてもらえる(3交代 or 2交代)
- ・ 夜勤の有無を選べること。学びたい上司を選べること。
- ・ 子育てをしている人などに、正社員のまま、勤務時間帯の選択ができ、夜勤の免除が受けられたらいい。
- ・ 習い事がある曜日は夜勤シフトからはずしてくれるシステムがあったら嬉しいです。
- ・ 夜勤専門常勤が出来る場所をもっと増やしてほしい。
- ・ お金が必要な人は、働けば働くほど給料が上がり、夜勤をしない人や少ない人は、給料を下げた方がいい。夜勤をしてもなくても、基本給が同じでは不公平。

子育て支援に関するコメント

- ・ 勤務時間短縮(育児時間制度)がほしい。病棟でも子供がいて働きやすい職場と考えると夜勤免除制度もほしい。
- ・ 育児休暇が子供が3歳になるまで、取得できるといいな!
- ・ 病児保育をしてくれたら助かると思う。
- ・ 24時間保育に病児保育がついたもの。
- ・ 院内保育制度(病後保育や夜勤中の保育も)
- ・ 子供が長期休暇の時には休みになるか時短となる制度。小学校になれば心配。
- ・ 育児や学習などのために休職していても、戻って来やすい再学習プログラムがあったらいいと思う。
- ・ 子供がいるスタッフが時短を取ったり、休んだりした分は賃金から差し引き、それをかぶって働いたスタッフに手当てとして、金銭的な面でフォローするべきであると思う。そうすれば、子供がいるスタッフも気兼ねなく、自分の家庭生活にウェイトをおくことができ、その分働くスタッフも金銭的なフォローがあることで、割り切って腹も立たずに働けると思うのだが。結局はお金が休みか選べる勤務ができればいいということ。

長期休暇に関するコメント

- ・ 1か月単位でのリフレッシュ休暇(無給で可)があったらよい。働き続けるのは大変。気分転換がほしい。
- ・ 2~3か月のリフレッシュ休暇があればいいなと思う。
- ・ 1年から数年休暇をとって、同じ職場に戻ってこられる制度。

人事交流や研修に関するコメント

- ・ 他病院との交流、交換制度
- ・ ほかの専門病院への研修制度(短期間研修で専門分野を学びなおす)、希望によるローテーションなどがあると働きやすいのではないかと。
- ・ 全国に系列のある病院で、都会で働くのは疲れたから一年くらいどこか地方で働くような制度があればいい。
- ・ 海外研修や海外ボランティア等を退職しなくても行なえる制度があれば良いと思う

その他のコメント

- ・ 制服のカタログから自由に白衣を選べ支給される制度がほしい。
- ・ 目が不自由な人の雇用の一環として、院内にマッサージ室をつくっていつでも受けられるようにしてほしい。
- ・ 今の病院では、泊りがけの社員旅行の他に、日帰りの家族旅行があります。同居の家族と一緒に参加できる為、金銭面にも助かりますし、子供がとてもよるこびます。来年はどこに行けるのか?と、とても楽しみにしています。家族を大切にしてくれる制度で、自慢できる制度と思っています。

3. 回答者のプロフィール

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	全国
調査対象	20～40代の病院勤務中の女性看護師（診療所等の勤務者や非就業者は含まない）
有効回答数	合計500サンプル（20代170名・30代170名・40代160名）
調査日時	2009年3月12日（木）～3月16日（月）

【株式会社ケアレビュー会社概要】

株式会社ケアレビューは、医療業界に特化した職員満足度と患者満足度の専門調査会社です。全国100を超える医療機関の満足度調査の結果やモニタリングシステムの運営を通して、医療の質を高めるための新しいシステムやサービスの開発に取り組んでいます。

社名 株式会社ケアレビュー
本社 東京都品川区上大崎2-15-19 アイオス目黒駅前8F 〒141-0021
URL www.carereview.co.jp
設立 2004年11月15日
資本金 1億円
代表者 代表取締役 加藤良平
事業内容 医療機関の職員満足度・患者満足度調査事業

【本調査に関するお問い合わせ先】

株式会社ケアレビュー 担当：加藤
東京都品川区上大崎2-15-19 アイオス目黒駅前8F 〒141-0021
TEL:03-5755-3820 FAX:03-5755-3830 E-mail:info@carereview.jp